

TERASOLUNA 2.0.5.3 移行ガイド(Web 版)

変更履歴

バージョン	日付	改訂箇所	改訂内容
2.0.5.3	2014/8/20	-	新規作成

■ 概要

本ドキュメントは、TERASOLUNA Server Framework for Java (Web 版) 2.0.5.2 で作成したアプリケーションを、2.0.5.3 へ移行する際の手順を示すドキュメントである。

◆ 2.0.5.3 の変更点概要

- 依存ライブラリのバージョンアップ
- build.xml のクラスパス設定変更
- 「WF-01 拡張入力チェック」の MPV 機能に対する制限に伴う変更

■ 移行手順

2.0.5.2 から 2.0.5.3 への移行手順を説明する。

前提条件

TERASOLUNA Server Framework for Java (Web 版) 2.0.5.2 を使用したアプリケーションが正常に動作していること。

以後、本書ではこれをアプリケーションと呼称する。

① blank プロジェクトのダウンロード

TERASOLUNA Server Framework for Java (Web 版) 2.0.5.3 の blank プロジェクト (terasoluna-server4jweb-blank_2.0.5.3.zip) を以下の URL よりダウンロードし、任意のフォルダに展開する。

ダウンロードサイトの URL :

➤ SourceForge.jp <http://sourceforge.jp/projects/terasoluna/releases/>

② 依存ライブラリの変更

TERASOLUNA フレームワークや Struts のライブラリの差し替えを行う。
差し替えるライブラリは以下の通りである。

2.0.5.2のライブラリ	2.0.5.3のライブラリ	種別
struts-1.2.9-sp1.jar	struts-1.2.9-sp2.jar	差し替え
terasoluna-commons-2.0.5.2.jar	terasoluna-commons-2.0.5.3.jar	差し替え
terasoluna-dao-2.0.5.2.jar	terasoluna-dao-2.0.5.3.jar	差し替え
terasoluna-ibatis-2.0.5.2.jar	terasoluna-ibatis-2.0.5.3.jar	差し替え
terasoluna-thin-2.0.5.2.jar	terasoluna-thin-2.0.5.3.jar	差し替え

「種別」に従って下記の修正を行う。

※「2.0.5.3 のライブラリ」は terasoluna-server4jweb-blank_2.0.5.3.zip を展開したフォルダの lib フォルダ直下に格納されている。

差し替え：

アプリケーションの lib フォルダ直下から「2.0.5.2 のライブラリ」に記載した jar ファイルを削除し、「2.0.5.3 のライブラリ」に記載した jar ファイルを追加する。

同様に、Javadoc やソースコードが格納されている jar ファイルを差し替える。
これらの jar ファイルは terasoluna-server4jweb-blank_2.0.5.3.zip を展開したフォルダの terasoluna フォルダ配下に格納されている。

2.0.5.2のJavaDoc格納jarファイル	2.0.5.3のJavaDoc格納jarファイル	種別
terasoluna-commons-2.0.5.2-javadoc.jar	terasoluna-commons-2.0.5.3-javadoc.jar	差し替え
terasoluna-dao-2.0.5.2-javadoc.jar	terasoluna-dao-2.0.5.3-javadoc.jar	差し替え
terasoluna-ibatis-2.0.5.2-javadoc.jar	terasoluna-ibatis-2.0.5.3-javadoc.jar	差し替え
terasoluna-thin-2.0.5.2-javadoc.jar	terasoluna-thin-2.0.5.3-javadoc.jar	差し替え

2.0.5.2のソースコード格納jarファイル	2.0.5.3のソースコード格納jarファイル	種別
terasoluna-commons-2.0.5.2-sources.jar	terasoluna-commons-2.0.5.3-sources.jar	差し替え
terasoluna-dao-2.0.5.2-sources.jar	terasoluna-dao-2.0.5.3-sources.jar	差し替え
terasoluna-ibatis-2.0.5.2-sources.jar	terasoluna-ibatis-2.0.5.3-sources.jar	差し替え
terasoluna-thin-2.0.5.2-sources.jar	terasoluna-thin-2.0.5.3-sources.jar	差し替え

③ build.xml のクラスパス設定変更

②依存ライブラリの変更に従って、build.xml のクラスパスの設定を修正する。
アプリケーション直下の/ant/build.xml を②依存ライブラリの変更で使用した依存ライブラリ表を参照し、「種別」に従って下記の修正を行う。

差し替え：

「2.0.5.2 のライブラリ」に記載した jar ファイルから「2.0.5.3 のライブラリ」に記載した jar ファイルにクラスパス設定の jar ファイル名を変更する。

●修正例●

【2.0.5.2 の build.xml】

```
<!-- クラスパスの設定 -->
<property name="classpath.lib" value="
    * * * (中略) * * *
    ${lib.dir}/struts-1.2.9-sp1.jar;
    * * * (中略) * * *
    ${lib.dir}/terasoluna-dao-2.0.5.2.jar;
    ${lib.dir}/terasoluna-ibatis-2.0.5.2.jar;
    * * * (中略) * * *
"/>
```

【2.0.5.3 の build.xml】

```
<!-- クラスパスの設定 -->
<property name="classpath.lib" value="
    * * * (中略) * * *
    ${lib.dir}/struts-1.2.9-sp2.jar; ←クラスパス差し替えの例
    * * * (中略) * * *
    ${lib.dir}/terasoluna-dao-2.0.5.3.jar;
    ${lib.dir}/terasoluna-ibatis-2.0.5.3.jar;
    * * * (中略) * * *
"/>
```

④ 「WF-01 拡張入力チェック」の MPV 機能に対する制限に伴う変更

本バージョンによる変更で、Validator 機能(入力チェック機能)のサブ機能の MPV 機能はデフォルトで無効となる。MPV 機能を利用している場合のみ、これを有効にするため、以下の対応が必要となる。詳細は、機能仕様書の「WF-01 拡張入力チェック」を参照のこと。

➤ 設定方法

MPV 機能を使用するアクションパスに対し、Struts 設定ファイルにて、「acceptPage」を設定する¹。「acceptPage」の値には、そのアクションパスにリクエストされる page パラメータとして想定する最小値を設定する

Struts 設定ファイルの設定例

```
<action path="/sampleBL" name="_sampleForm">
  <set-property property="acceptPage" value="0" />
  <forward name="page1" path="/forward1SCR.do" />
  <forward name="page2" path="/forward2SCR.do" />
  <forward name="success" path="/resultSCR.do" />
</action>
```

MPV 機能を使用するアクションパスに対し、「acceptPage」のプロパティを設定する。

入力チェック設定ファイルの設定例

```
<form name="/sampleBL">
  <field property="code1" depends="required" page="0" />
  <field property="code2" depends="required" page="1" />
</form>
```

⑤ 動作確認

アプリケーションを起動させて、問題なく動作することを確認する。

¹ Struts の脆弱性(CVE-2014-xxxx)に対応するために本チェック処理を追加している。